

# モバイル機器を用いた上級英語学習者の学習実態：インタビュー調査からの洞察

マリウシュ・クルク

ポーランド・ジェロナ・グラ大学

## 要旨

本稿では、英語を外国語として学ぶ上級学習者が、自らのニーズや目標に合った学習体験を構築するために、モバイル機器を活用する様子を探究した研究結果について論じる。データは20名の学生から半構造化インタビューによって収集され、質的および量的分析が行われた。

その結果、一部の参加者は、モバイル機器が学習活動に果たす利点や、自らの学習スタイルに応じた英語学習の調整、目的達成のために必要な情報を見つけ出す能力に関して、高い意識を示していた。一方で、教室内でのモバイル機器の使用は、直感的あるいは場当たりの傾向も見られた。

キーワード：学習者の自律性、モバイル機器、上級EFL学習者、英語学習

### 1. はじめに

近年、特にスマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器は、多くの研究者の関心を集めている（Byrne & Diem, 2014）。これは、個別化された学習、多様なモバイルアプリの利用、インターネットへの容易なアクセスなど、新技術が提供する可能性が注目されているためである。また、学習者の間でモバイル機器の普及が進んでおり、公式・非公式な語学学習において有用な手段となり得る。

Benson（2011）によれば、教育技術と学習者の自律性の間には常に密接な関係があり、独立した学習実践を目的として技術が活用されてきたとされる。ただし、Reinders & White（2016）は、今後の研究や実践では、言語学習者にとって意味のあるツールや環境、活動に焦点を当てた技術活用が重要であると指摘している。また、現代の言語教育では、学習者自身がそのような環境の中で適応的かつ批判的な学習を行えるようになる必要がある。

したがって、外国語／第二言語の学習者に対して、モバイル機器が持つ教育的可能性を十分に理解させ、効果的な活用方法を教えることが、教師の重要な役割となる。また、学習者が自らの学習経験や環境をどのように組織しているかという点と、モバイル機器（特にスマートフォンとタブレット）が果たす役割との関連性を理解することは、研究者や実務者にとっても極めて重要である。

以上の課題を踏まえ、本研究では、上級英語学習者がモバイル機器をどのように語学学習に活用しているのかを明らかにすることを目的とした。本論文では、まず先

行研究の概要を紹介し、続いて調査設計（研究課題、参加者、データ収集方法と分析）について述べ、最終的に結果と考察、結論を示す。